

## My job



6:45	起床
7:00	ビーチへ
8:30	出社
9:00	朝礼・ミーティング
9:30	宅建講習会
12:00	昼食
13:00	契約書類作成・登記申請書類作成
16:00	総務事務処理
17:50	夕礼
18:00	退社
20:00	テレビ鑑賞など
24:00	就寝

「僕が入社した頃は、先輩社員が多くて、新人が能力を発揮しにくかった。けれど今は、若手が大半。みんなが活躍出来る雰囲気、環境がある。活気もあって、これこそが紀の国住宅の強みだと思います。地域にある他の住宅会社を見渡してみても、うちほど新卒をたくさん採るところは少ないんじゃないかな。若い人っていうのは素直なところがいい

いですね。頑固なオヤジより、若者のほうが柔軟（苦笑）。接客においても有利だと思いますね。お客さんに喜ばれる。一生懸命で熱意が伝わるからでしょうね」。

では、管理課の仕事で大切になってくるものは何か。新人さんへのメッセージという意味も含めて、朱さんに伺った。

「不動産や住宅に興味があるかどうかは、

二の次。僕も就活というものが面白そうだという好奇心だけで、会社に入ったようなものだから（笑）。でも、社会人としてのふるまい、たとえば、挨拶などは大事ですね。基本的な常識のようなもの。それから素直さ、この2つがあれば大丈夫」。

### Stance of work

報告・連絡・相談！  
この基本を怠らず、  
常に徹底しておくこと。



### 紀の国住宅株式会社の 管理本部

朱 慶平さん  
管理課 係長  
1998年入社

## 若手が活躍できる環境が大いにある。 資格や興味のあるなしは管理課では二の次！

年に2回の繁忙期、  
それを乗り越えた  
時の充実感がやり  
がいに。

15年前、海外からの留学生が日本で就職活動を行うことが珍しかった時代に、33歳の新卒生として紀の国住宅に就職したのが、和歌山大学の留学生だった朱さんだ。異例の入社歴を持つ朱さんだが、財務課や企画課、また不動産事業部に在籍していたこともある多彩な異動歴も、社内では珍しい。現在は管理課で、契約書の作成、分譲地を分割する分筆業務などを行う。土地家屋調査士や司法書士との打ち合わせをしながら進める、住宅会社では

必須の事務職だ。「5月と11月の決算月が、特に忙しい時期ですね。そのふた月というのは、会社の売り上げの8割が集中して入る時期で、管理課の仕事が立て込む。短期集中が必要なので疲れもありますが、同時に終わった時には充実感があって」。

**管理課に  
資格は不要。  
必要なのは  
社会人の常識と  
若者の素直さ。**

「仕事においての苦労はあまりないかな」という朱さん。その一番の理由は、みんなと話をしやすい社内環境にあるという。